



発行：小網代ヨットクラブ  
〒238-0225  
神奈川県三浦市三崎町小網代1385-18  
Tel 080-9571-4663  
編集：広報委員会  
編集長：里吉美恵子

# 小網代通信

2019年4月号 VOL-250

## 今月の内容

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「春の真鶴クルージング報告」	氏家 理央 (クルージング委員会)	2ページ

### 連絡事項 (編集委員)

#### 1. < 3月24日早朝 小網代の海面に“けあらし”現象起こる >

前日の土曜日は、気温が急に下がり、曇りが降った。翌日は快晴となった朝の出来事。写真提供は、「たかとり」脇 利博氏(撮影者)です。前日より船内に泊まり、非常に寒い夜で、早朝のドジャーの上の雨粒が凍っていたとのこと。神秘的な光景をご覧ください。



写真左上:  
太陽とともに湯気が立ち上がる



中上:  
隣の船が見えなくなって



右上: 小網代の森とテンドー置場前によく見ると「けあらし」が残って。。。

#### 2. < 4月KFR 合同レース(リビエラ湘南レース)となります >

4月21日(日)は、KFRとリビエラ湘南レースと日程が重なったため、合同レースで行われることとなりました。リビエラ湘南レースは、上下を2レースですが、KFRは第一レースのみだけです。どちらのレースも夫々に事前申し込みが必要です。KFRのみの参加艇は、4月19日までに小網代フリートレース委員会宛にEメールでの申し込みと参加費用が口座振り込みとなっています。当日のエントリーは、4月は受付されません。詳しくは、ホームページの「レース」⇒「4月の公示」をご確認ください。

[http://koaziroyc.jp/Race/KFR/201904KFR\\_NOR\\_20190311.pdf](http://koaziroyc.jp/Race/KFR/201904KFR_NOR_20190311.pdf)

KFRには上下コースの設定はないので、初めて経験される方も多いのではないのでしょうか？今年の合同レースは今回だけですが、近隣のクラブとの交流もあり、刺激が満載です。

\*4月20日～21日は、江の島ヨットクラブ主催の「ルウェーフレンドシップヨットレース」が開催されます。詳しくお知りになりたい方は、<http://eyc.jp/nfy/> でご確認ください。

 【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 4月22日(月)18:30～21:00 駐健保会館4階会議室(JR田町駅より徒歩10分)】

# 春の真鶴クルージング報告

クルージング委員会 氏家理央(胡桃)

3月23日(土)~24日(日)の一泊二日にて、春のクルージングを実施しました。今回の訪問先は相模湾を真っ直ぐ西に横断した真鶴港。北風でも南風でも行きやすく、魚がおいしい人気の場所です。参加艇はアップサラス、胡桃、スピリットオブトウキョウ、多慶丸、飛車角、モナミウーの6艇。



がしかし…！日頃の行いが祟ったものか!? 初日朝から気温は急降下で凍える寒さに。おまけに一時はみぞれ混じりの氷雨まで降り、波浪が加わって、予期せぬサバイバル・クルージングの様相に。(写真左:息が白いみぞれの中、カッパで完全防備の…誰!?)



ところがさすがは小網代。各艇早々に真鶴に集合、整然と係船(写真右1)。モナミウーは出

航したものの航続を断念、しかし飛車角に同乗して無事参加に漕ぎつけ、全艇何事もなかったかのごとく、予定通りの宴会開催となりました。



真鶴の老舗「岩忠」にて、絢爛豪華な船盛(写真右2)が、1艘につき2人がかりで運ばれてくると、おお～！待ってました、とドヨメキが。今年は不漁で良い伊勢海老が少ない、と女将がこぼしていましたが、さすが老舗と言うべき堂々たる顔ぶれ、質、量、鮮度、ともに文句なしの、華やかで贅沢な海のご飯を堪能しました。なお、焼物には小ぶりのホウボウが供され、見た目は地味な焼魚が、真っ白な肉を噛みしめると、典雅で馥郁たる滋味が溢れて、ホウボウってこんなに旨い魚だっけ!?と評判持ちきりだったので、特に書き添えます。



クルージング委員会宴会部長・相馬委員

(アップサラス)の司会にて、手に汗握る「各艇対抗・舳い結びタイムレース」では、女性選手に会場からの強い要請で急遽ハンディキャップが付与されるなど(写真右3)、熱い接戦の末、「胡桃」のベテラン新人!?元・ヨット部監督の明星(あけぼし)が優勝を勝ち取り、授与された金沢の清酒「黒帯」を皆さんに振舞って、花冷えの熱い宴を締めくくりました(写真右4)。



翌日曜、小網代への帰路では、やっと海の神様のお許しが出て天候に恵まれ、快晴のもと相模湾中央付近で渦を巻いて獲物を追い込むイルカの大群に遭遇！群れの真ただ中を小網代艦隊が突っ切りましたが、先方は多忙にてヨットと遊ぶどころではなく、宴に夢中の様子だったため、後ろ髪を引かれつつ全艇無事に帰港しました。